

第54号
令和5年4月発行



報告

第40回NPO博多の風フォーラム
「博多の町が持つ防犯力」



報告 第19回博多のおいしゃんと歩こう
追い山笠コース探訪



報告 第21回
あつまれ楽文コンテスト表彰式

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください
<http://hakanokaze.jp>

令和元年(2019)

- 5月 第40回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師: 戸谷 弘一(博多警察署長)
- 6月 第18回 追山コース探訪 開催
第19回 楽文コンテスト 開催
- 11月 第19回 楽文コンテスト表彰式 開催

令和2年(2020)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各行事の開催見送り

令和3年(2021)

- 6月 第20回 楽文コンテスト 開催

令和4年(2022)

- 6月 第19回 追山コース探訪 開催
第21回 楽文コンテスト 開催
- 12月 第21回 楽文コンテスト表彰式 開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakanokaze.jp
URL <http://hakanokaze.jp>

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表: 大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長: 大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
 - ・博多の風フォーラム開催
 - ・広報誌・HP発行
 - ・毎日新聞世論フォーラム公聴
 - ・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
- 地域環境向上事業
 - ・博多の町親交
(清掃活動・クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
 - ・書籍出版
 - ・博多祇園山笠の振興
 - ・追山コース探訪開催
- 協力事業
 - ・各市民団体との情報交換及び支援



NPO博多の風フォーラム 「博多の町が持つ防犯力」

平成31年4月20日、40回目となるNPO博多の風フォーラムが大原保育医療専門学校福岡校5階会議室にて開催されました。今回は福岡県警察博多警察署長で警視正（当時）の戸谷弘一氏に登壇いただき、「博多の町が持つ防犯力」として警察組織の概要やこれまでの博多署の取り組み、そして博多の町の防犯環境についての話をいただきました。



戸谷 弘一（とたに ひろかず）
福岡県警察博多警察署長（当時）

昭和53年4月 福岡県警察官に採用
主に、生活安全（防犯）部門で勤務し、
平成10～13年に警察庁生活安全企画課
に出向。博多警察署生活安全管理官、
警務課管理官、厚生課長、柳川警察署長、
生活安全総務課長、九州管区警察局警務
課長などを経て、平成30年3月から
令和元年8月まで博多警察署長を歴任。
博多祇園山笠では、土居流下土居町に所属。

博多の町が持つ防犯力について、博多警察署の取り組みをご紹介します。まず福岡県警の三大重点目標をお伝えしますと、「暴力団の撲滅」・「飲酒運転の撲滅」・「性犯罪の抑止」の3つです。「飲酒運転の撲滅」については福岡県が全国の取り組みを引っ張る動きをつけていかないといけないというところで取り組んでおりますが、まだまだ収まっていないと言えず、撲滅には至っていないというのが現状です。

実は福岡では性犯罪が多く、残念ながら高水準で発生してしまっています。このような現状の中で博多警察署で取り組んでいる「博多マル暴ゼロ作戦」についてご紹介させていただきます。これは平成21年にスタートしまして今年で10年目です。その間、福岡県暴力団排除条例の施行や暴力団員立入禁止標章制度の開始など各種条例の制定を基に博

多の暴力団対策を進めています。この「博多マル暴ゼロ作戦」がスタートした平成21年は企業への発砲事件が起こったり抗争事件が過熱した時期であり、多くの住民が不安を抱いておりました。そんな中で中長期的な戦略と継続的な取組を行う博多警察署独自の暴力団総合対策としてこの作戦がスタートしました。その後、平成28年に一つの問題に焦点を絞る形となりました。

それが中洲リノベーションと称した作戦です。中洲地区は各種利権が絡んでおり、暴力団にとつては重要な資金源となっております。暴力団による資金獲得の形態が潜在化かつ巧妙化したり、風俗案内所や客引きなどが増加するといった中で平成28年から中洲地区における暴力団組織の資金源対策に特化することとなりました。活動の柱は大きく4つあり、「客引きの排除」「悪質

店舗・違法店対策」「暴力団の排除」「地域と協働した繁華街対策」を掲げて警察はもろろん地域の方々や事業者の皆さまと連携を取りながら活動しています。そんな中洲地域では平成28年から平成30年にかけて暴力団組員による集団での練り歩き、けん銃発砲事件、傷害事件などが発生しています。いずれも検挙されてはいますが、いまだにこのような事が起こっているということなんです。博多署はこのような事件が起こると全署を挙げて警戒活動を行い制服でのパトロールなどを通じて住民の方々へ安心感を与えられるよう取り組んでいます。

また、活動の一環として「安心・安全ローラー」という取組も実施しています。中洲には多くの店舗があり毎月入れ替わりがあります。その店舗の実態把握や暴力団員立入禁止標章店等に対するフォロ

アップや暴力団等に関する情報収集、また飲酒運転撲滅に向けた抑止対策などを目的として年間を通じ中洲地区の全店舗を訪問しています。この活動をスタートした当初は「暴力団排除ローラー」として博多署が独自に始めましたが、これが非常に効果的だということ、この取り組みがモデルケースとなって県下に浸透していき総合的な治安対策として平成30年8月から「安心・安全ローラー」という名前に変わって取り組んでいます。先日、博多署で開力ジノを摘発しましたが、通常入ってこない情報も積極的に街に対して情報収集していけば出てくる所からは出てくるということでも効果的であるといえます。また、情報収集をいっつ、一方で警察官から飲酒運転の撲滅を含めた啓発活動も行っていけるといふ利点もあります。こう

いった取り組みへの住民の声としては「客引きが減って安心できる」や「中洲の雰囲気も良くなった」などの評価も上がっています。一定の効果が出始めているのかなとも思いますが、中洲の賑わいも大切ですので、是非皆さんも確かめるという意味でも中洲を楽しまれてはと思います。

「博多マル暴ゼロ作戦」の10年目の取り組みの一つとして警察・行政・地域・事業者一体となった作戦とするためにPRのポスター・チラシやパレードで使う提灯などを作成しています。今後の展望としては客引きグループを封圧した現状を維持していくことや制服警察官による見せる警戒活動の継続、安心安全ローラーの継続、暴力団員等立入禁止標章の掲示率の向上による「中洲地区に暴力団が入れない環境」を整備推進していくこと、そして暴力団等によ

る資金獲得形態の解明を進めていきたいと考えております。地域と協働した繁華街策としては「暴力団のいない安全・安心で賑わいのある中洲地区の実現」を目指して活動を進めていきます。今年G20の会議やラグビーW杯も予定されています。世界各地から博多・中洲を訪れる方が非常に多くなっています。博多で暮らしている方や博多を訪れる方々に本当に安心していただけるように博多署としても頑張りたいと思います。

最後に、博多の町が持つ防犯環境についてお話しさせていただきます。どうすれば犯罪

が起きにくい社会になるかという事なんですが、これは医療に似た考え方でして、病気になる治療をするように、犯罪が起きたら治療をするという事になります。でもやっぱり病気になる前に越したことはないで、まずは健康になるために日ごろから体質改善に向けた取り組みをする、といったように犯罪が起らないように、安全・安心な社会になるように自主防犯を取り組んでいく必要があるというものです。犯罪は「犯罪企図者」と「犯罪対象者」があれば発生してしまいそうですが、実はそこに「犯罪が発生しやすい場所」があるかどうかという要素も必要でこの3つが犯罪を構成する要素だといわれています。

と言われています。現在は昭和期と比較して地域の連帯感やコミュニティは希薄化しています。地域との繋がりがなくなっても生活していけるんですね。ある種犯罪が起きやすい社会になってきているともいわれています。

そんな状況で犯罪が起きにくい社会を作っていくためには必要で、防犯環境設計を行っていくことです。ソフト面の対策には地域の方々の力が必要で、どうしても警察だけでは出来ない部分がありますので防犯ボランティアの方々などの協力で成り立っていると

以上

町を愛する力が町を守る力になる。博多の町には愛すべき魅力が数え切れない位あると思います。それを掘り起こし、伝え、博多を愛する人を増やしていくことで、自らの手で町をよりよくしていける。今回の講演はとても勇気をいただいた機会となりました。出来ることを少しずつ行動に移していきたいと思えます。

（大浦 晴彦）



以前の犯罪対策は、犯罪原因論が主に提唱され犯罪者対策がメインとされていましたが、そこから犯罪機会論へシフトして被害者対策をメインとして犯罪が起こる機会を失くしていくという考えに変わってきていますし、環境を良い方向へどんどん変えていけば犯罪は発生しにくい

告知

第41回 NPO博多の風フォーラム 開催のご案内

■日時:令和5年5月13日(土) 開場 12:30 / 開演 13:00 ■場所:福岡市立博多小学校「表現の舞台」

ながた たかのり
講師:永田 隆憲氏

一般財団法人省エネルギーセンター
九州支部 事務局長

演題:「チームづくりとリーダーシップ
+ カーボンニュートラルの進め方」

※ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ご参加ください。多数の方のご参加をお待ちしています。

博多の おいしゃんと 博多を歩く。



令和4年6月5日、通算19回目となる「追い山笠コース探訪」を開催しました。令和2年・令和3年においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、開催延期を余儀なくされ、博多祇園山笠と同じく3年振りの開催となりました。

開催に当たり、新聞や福岡市政だよりによるご案内をはじめ、博多の風ホームページへの掲載や、テレビ番組の情報コーナーにおいても情報発信を行うなど、各種メディアを通じて多くの皆さまへ向け、参加を呼びかけました。

今回のコース探訪においては、参加者の健康と安全確保に向けて、福岡市の感染拡大予防ガイドライン等を参考にしながら、当日の検温やマスク着用だけでなく、密にならないように参加者同士の間隔を確保する工夫を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底しました。

当日は、あいにくの雨模様となりましたが、約120名の方に「ご参加いただきました。9時30分から理事長と副理事長が挨拶。世話人の塚本さんから注意事項をお伝えした後、10班に分かれた参加者と法被に身を包んだ博多の風のおいしゃんが次々と博多の町に歩き出していきました。

追い山笠コースは、櫛田神社から須崎問屋街の廻り止めまで約5キロの道のり。追い山笠当日は約30分で進むコースを探訪では、途中の浜口公園での休憩をはさみ、約2時間かけて歩きます。語り部は博多の風の仲間たちです。

まずは土居通りを上り、櫛田神社の山留めへ。太鼓の音が動き出す場所です。3年振りの博多祇園山笠を翌月に控え、語り部の仲間たちの言葉にも熱がこもりました。

博多祇園山笠と追い山笠コース探訪が延期となった2年間で博多部の街並みに所々変化が見られました。山笠のゴール地点「廻り止め」では建物が建替わり、新たな風景が生まれました。時代や町の変化と共に、山笠を大切に思う先輩方の努力と工夫により、山笠は変化を続けながら、今も残り続けています。

博多の歴史や街並み、山笠うんちくを耳にした参加者からは「今年の3年振りの山笠がより一層楽しみになった」「実際に山笠に参加されている方の話は大変興味深く楽しかったです」「コースが思ったよりも複雑で驚いた」「歩いてみて初めて高低差を体感できた」など多くの感想が寄せられました。



理事長 挨拶



東長寺に向かう一歩



廻り止め前でラストスパート

博多の風 追い山笠コース探訪

新世話人紹介



塚本洋介さん(40歳)

NPO博多の風 コース探訪担当

■職業:医療関連

■土居流 川口町

■博多の風の幹事になったきっかけは

思い返せば、NPO博多の風が発足したのが、僕が山笠に参加した翌年でした。当時は高校生だったので、大庭理事長の思いなど解らずに、ただ町内の先輩(当時はおいしゃん)達が、「小人数の町でも博多の風を通して博多の町に恩返しができる!大庭理事長に協力できることは全力でやるう!」と話し合っていたことだけは覚えています。今の年齢(40歳)になって掃除など風の活動に対して、「ありがとう。」「お疲れ様です。」

とやっていただけることにとてもやりがいを感じています。皆さんが思っている山笠の疑問に「山笠は博多に住んでいる人しか参加できないのでは?」ということがあります。僕は佐賀出身です。山笠参加歴を重ねるにつれ、日に日に博多への想いは強くなります。もちろん佐賀で生まれ育ったことは誇りに思っています。が、勝手ながら博多も僕にとっては佐賀と同じ思いです。そんな思いの中、博多に縁がある方々から「ありがとう!」などの言葉をかけられる時は、博多の方に

受け入れていただいている、これこそが皆が言っていた僕たちに出来る恩返しなのだと感じます。そして少しずつ博多の人間に近づけているのかなとも思いますが。高校生の頃はあまり気にも留めていなかった言葉などが、今では自分が博多を感じられる一つになっています。

■博多の風での目標を教えてください

まずは新しい世話人として探訪の充実を図り、参加いただける方々に心から楽しんでもらえる準備を進めていきたいと考えています。それから、博多の風を応援していただける方々からの「ありがとう!」を大切にしながら、活動の幅を広げていきたいです。博多の風のイベントに参加いただく方々も、運営する我々博多の風のメンバーも共に楽しんで博多の町をもっと好きになっていけるような活動に取り組んでいきたいと思えます。

YouTubeで『第19回 追い山笠コース探訪』を紹介しています!!



博多のおいしゃん
大庭宗一の
博多げなげな。



博多の総鎮守「櫛田神社」探訪はここから始まります。



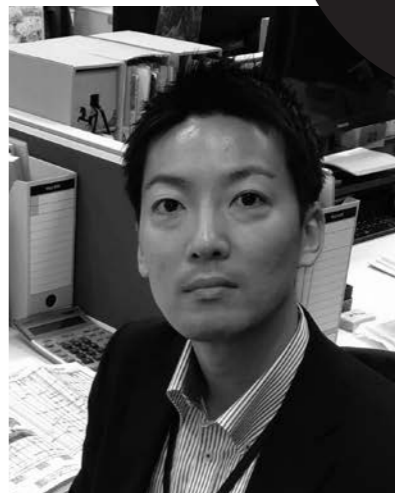
この場所に清道旗が立ちます。山笠のお話もありますよ!是非ご覧ください!

告知 第20回 博多のおいしゃんと歩こう 「追い山笠コース探訪」

- | | |
|------|---|
| 開催月日 | 令和5年6月4日(日) 午前9時 受付開始 |
| 集合場所 | 冷泉公園(博多区冷泉公園) |
| 参加方法 | (1)募集期間 令和5年5月21日(日)まで
(2)定員 200名 ※応募多数の場合は抽選
(3)応募方法 ハガキ ※「代表者」及び「参加予定者全員」の「氏名」、「年齢」、「電話番号」と「代表者の住所」又は 博多の風HPからお申込み下さい
(4)参加費 大人 1,000円
子供(中学生以下) 無料 |

博多の風事務局
ハガキ申込先 〒812-0027 博多区下川端町8-16-302
博多の風HP <http://hakatanokaze.jp>

来風人



幹事紹介
三谷紀人さん(40歳)
 NPO博多の風 コース探訪担当
 ■職業: 建築・不動産関係
 ■土居流 川口町

■博多の風の幹事になったきっかけは

「博多の風の幹事会に、お手伝いで参加してみるか?」山笠の先輩から声をかけられたのは山笠に参加して3年目の夏でした。

「博多の風」は博多祇園山笠土居流を中心とした先輩方が幹事を務めるNPO法人で、毎月第3土曜日に幹事会を開催しています。幹事会後には直会が開かれ、山笠と同じ空間に

じように、幹事会終了時と直会終了時に手を入れます。幹事会に参加できるということは、山笠の先輩方と会い、山笠を動かす原動力となっている先輩方の話が聞けるということです。

初めての幹事会はお手伝いとして参加したので、幹事の皆さんとお話をすることは叶わないと思っていましたが、先輩方から優しく声をかけてくださいました。山笠の先輩方と同じ空間に

報告

令和5年度 NPO博多の風 総会

令和5年2月18日(土)開催

各担当理事および幹事の出席のもと、野中理事の司会で開催されました。「令和4年度事業報告・決算・監査報告」および「令和5年度事業計画・予算審議」、「役員人事」について審議を行い、全ての議案について承認されました。



■理事長より
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2年間延期していた追い山笠コース探訪を、昨年3年振りに開催することができた。今年度はフォーラムも計画している。皆さんと力を合わせ、これからも地域に貢献できるNPO法人にしていきたいと思う。なお一層の協力をお願いしたい。

令和5年度体制

- ◎理事長 大庭 宗一
- ◎副理事長 因幡 敏幸
戸谷 弘一
- ◎理事 松本 昭久
野中 雅治
村岡 昌哉
大庭 大輔
森 義人
中川原 謙二
山口 覚弘
- ◎監事 金子 俊明
板谷 益男
後郷 光信
- ◎顧問 太田 勇之助
大庭 信雄

大庭宗一の大人気エッセイ

シリーズ第11弾 好評発売中



「明日への一言。11」
 熱いメッセージがいっぱい
 詰まったエッセイ集です
 定価600円(税込み)

ホームページからも購入できます。
 URL <http://hakatanokaze.jp>

賛助会員募集中

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お近くの博多の風の幹事か下記までご連絡ください。

一般会員
 一口 1,000円(年間)

特別・法人会員
 一口 10,000円(年間)

(一口以上、何口でもお申込みいただけます。)

お問合せ先
 「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)
 E-mail info@hakatanokaze.jp
 FAX 092-263-7188

報告

第21回 楽文コンテスト表彰式

令和4年12月10日(日)開催
 会場 博多小学校 表現の舞台

7月から9月の募集期間に、福岡市内外の小中学校から約1500通の応募があった21回目の楽文コンテスト。すべての作品に目を通し、1次選考から4次選考を経て、博多の風の執行部や後援協賛いただいた企業・団体の方にも協力頂きながら、作品を選ばせていただきました。家族や友達のこと、お祭りや夢中になっていることなど、「君が大好きなこと」について書いた作品で、子供らしい活き活きとした作文や、大人では気付かない視点での文章など、読み応えのある作品がそろっていました。12月10日に開催された表彰式では、優秀作品の表彰と、各賞代表の方の作品発表を行いました。



編集後記

博多祇園山笠は鎌倉時代の1241年に、博多の町に疫病が流行した際、承天寺の開祖である聖一國師が疫病退散の祈願のために施餓鬼棚に担がれ、博多の町を清めて回ったことに由来します。(諸説あります)以後782年もの間、山笠は時代時代の人々の想いを乗せて博多の町を走ってきました。

前回の「風人」発行は、平成31年の春でした。その後、世界は疫病との闘いを迎えます。現代は様々な手段を通じて疫病と戦うことができるようになり、不安や混乱は、今も昔も変わることはありませんでした。私たちが大切にしている山笠行事も2年延期となり、昨夏やっとの思いで執り行うことができました。科学的には「山笠」が病気に対してなせる業は少ないかもしれませんが、「絶対に、病に負けない」という気持ちや希望を私達に与えてくれました。NPO博多の風の活動も、この3年間制限されてきました。しかし、昨年3年振りに山笠コース探訪、楽文表彰式の開催、今年度はフォーラムも開催する予定です。少しずつ、以前の生活が戻ってくるとともに、博多の風も以前に増して精進してまいりますので、より一層のご支援をよろしく願います。

(今長谷 創太)